

シラバス記載例

科目番号		日英区分:日本語	
社00			
開講年度	期間	曜日/時間	開講学部等
2018	前学期	火00	共通教育等科目/社会系科目
履修コード	科目名[英文名]	単位数	
123456789	●●●●●	2	
担当教員(責任) [ローマ字表記]			
●●●●●			
登録状況	前回登録者	本登録日時	前回更新日時
本登録	●●●●●	2018/03/07 10:41:40	2018/03/07 10:41:40
担当教員[ローマ字表記]			
●●●●●			

ファイル取込

取込ファイルダウンロード

参照... ファイル取込

データ参照

2018 年度参照 2017 年度参照 2016 年度参照 その他参照

授業の形態

該当する授業形態にチェックを入れてください(複数選択可)

講義 演習又は実験 実習 TA有り

授業内容と方法 (必須入力)

- ・授業科目をめぐる懸念状況、背景、授業内容の必要性などについて必要に応じて簡潔に述べます。
- ・授業内容を具体的に書きます。そのさい、全体が見えるように、いくつかまとめて包括的に書きます。
- ・学習者が理解できるように、わかりやすい言葉で書きます。
- ・専門用語は多用しません。
- ・授業者の視点から、〇〇について「概説する」、「解説する」、「説明する」等々を記述します。
- ・授業方法については、講義、ディスカッション、グループ演習・発表、ビデオ視聴など、この授業科目で行われる授業方法を書きます。

大学ではあらゆることが講義の対象となり得ます。そして「大学」自体もその一つです。「大学」は多岐にわたる。さらなる発展を遂げているのが、それらは日本と韓国で、そして時代によってどのように異なるのか、自明なことのようにも、改めて考えみると疑問に思うことは少なくありません。そして、これらを考えることは、皆さんが今後の学生生活、さらには卒業後の学習を営むことにもつながります。本講義では、「大学」とは何を知ることを通じて、大学でどのような学習経験をすべきか、という課題を皆さんに考えさせたいと思います。本講義は、学習課題として指定するテキストに関する予習ノートの作成を求めます。授業時には担当教員のショートレクチャーを交えながら、受講生間でのディスカッションを中心に進めます。

URGCC学習教育目標

- ・共通教育科目については、必ず、授業科目の達成目標に対応する「URGCC学習教育目標」にチェックをしてください(必須項目)。
- ・専門教育科目については、可能な限り、授業科目の達成目標に対応する「URGCC学習教育目標」にチェックをしてください。
- ・大学院科目についての記載は不要です。

自律性 社会性 地域・国際性 コミュニケーション・スキル 情報リテラシー 問題解決力 専門性

達成目標 (必須入力)

- ・【授業内容と方法】と同じ記述にしません。
- ・授業内容の学習達成事項を具体的に書きます。
- ・①知識・理解、②思考・判断、③関心・意欲、④技能・表現などの面での学習達成事項を記述します。
- ・学習者の視点から、〇〇について「理解する」「説明できる」「論理的に述べることができる」「批判的」「指摘できる」「関心を持つ」「主体的に考えることができる」など、行動目標を中心として記述します。
- ※達成目標と学習教育目標との関係
- ・共通教育科目については、授業科目の達成目標とURGCC学習教育目標との対応関係を記載します。
- ・専門教育科目については、授業科目の達成目標と学士教育プログラムの学習教育目標との対応関係を記載します。

1. 大学での学習に必要な基本的スキルとして、課題テキストを批判的に読解することができる。【コミュニケーション・スキル】
2. 大学教育にかかわる一般的な課題を、授業で得た知識等を用いて説明できる。
3. 浅く深くを掛け、様々な立場から意見の対立があることを理解し、そうした論点を視野に入れて自分の意見を述べることができる。【社会性】【コミュニケーション・スキル】
4. 本授業から何を学ぶことができたかについて振り返り、今後の大学での学習とどのようにつながりがあるかを説明することができる。【自律性】

評価基準と評価方法 (必須入力)

- ・この項目は、達成目標と同じく、学生に対する契約、とりわけ単位認定・評価の最も重要な事項です。
- ・学生の成績への異議申し立てに対して、重要な説明根拠となります。
- ・達成目標の実現にとってこの評価基準と評価方法が妥当であると説明できなければなりません。
- ・達成目標に記された各目標と対応した評価基準を記載します。
- ・「総合的に評価する」という記述ではなく、試験、レポート、発表(プレゼンテーション)などの評価割合を示します。
- ・試験、レポート、発表などについて学習者がイメージできるように、情報を具体的かつ明確に書きます。どのような試験を何回実施するか、レポートはどのような内容でどのくらいの分量を要求するのかなど、できるだけわかりやすい情報を書き込んでください。

- 1-1. 課題テキストの内容を理解している。 25%
- 1-2. 課題テキストの内容に対して意見を述べている。 25%
2. ディスカッションへの参加 20% (達成目標3の評価)
 - 2-1. 他者の発言を理解している。 10%
 - 2-2. 自分の意見を積極的に述べている。 10%
3. レポート/レポート 20% (達成目標4の評価)
 - 3-1. どのように学習したかを振り返る。 10%
 - 3-2. 学習目標の到達状況に関して自己評価する。 10%
 - 3-3. 本授業と今後の大学での学習を関連づけている。 10%

授業計画 (必須入力)

- ・15回の授業それぞれについて、達成目標が実現できるように授業計画を書きます。
- ・定期試験については、15回の授業とは別に書いてください。
- ・具体的かつ明確に書きます。

4/10 第1回イントロダクション-本授業の概要説明と受講者間の交流-

4/17 第2回憲法までの学びから大学での学びへ(配布資料)

4/24 第3回憲法と大学①-前者の意図は整合的か-(テキスト16~31頁)

5/1 第4回学生と大学②-大学教育の制度-(テキスト32~43頁)

5/6 第5回大学教育の歴史①-専門職業教育とリベラルアーツ教育-(テキスト46~60頁)

5/15 第6回大学教育の歴史②-近代大学の理念と大学の大衆化-(テキスト61~70頁)

5/22 第7回大学教育の歴史③(配布資料)

5/29 第8回アメリカの大学教育①-アメリカ社会と大学の使命-(テキスト72~85頁)

6/5 第9回アメリカの大学教育②-教育システムの特徴-(テキスト86~100頁)

